

2022年2月24日

武田薬品工業株式会社との人工修飾核酸技術の
独占的ライセンス契約締結のお知らせ

ルクサナバイオテック株式会社（代表取締役社長：佐藤秀昭、本社：大阪府吹田市、以下「ルクサナバイオテック」）は、武田薬品工業株式会社（以下「武田薬品工業」）との間で、ルクサナバイオテックが保有する画期的な人工修飾核酸技術（以下「ルクサナ XNAs 技術」）について、神経疾患領域における複数の標的遺伝子（非公開）に対する全世界の独占的実施権許諾契約（以下「本契約」）を締結しましたのでお知らせします。本契約により、武田薬品工業は、特定遺伝子に対し、ルクサナ XNAs 技術を用いた核酸医薬品の研究開発を行う独占的権利を有することになります。

本契約の締結に伴い、ルクサナバイオテックは、武田薬品工業から契約一時金（金額は非公開）を受領します。また、ルクサナバイオテックは、本契約により発生する契約一時金、ならびに標的遺伝子毎のすべてのマイルストーンが達成された場合のマイルストーンフィーとして、総額で最大約 100 億円を受領する権利を有します。このほか、本契約のもと開発され、上市された製品の正味売上高に応じたロイヤルティーがルクサナバイオテックに支払われます。

ルクサナ XNAs 技術は、大阪大学大学院薬学研究科生物有機化学分野 小比賀 聡教授により生み出されたものであり、この画期的な技術の武田薬品工業へのライセンスにより、核酸医薬品の開発が促進され、神経疾患領域における核酸医薬品の実用化が加速されることを期待します。

ルクサナバイオテック株式会社について：

ルクサナバイオテックは、大阪大学で蓄積された核酸化学技術を基礎とし、安全かつ効果的な核酸医薬品の実用化を進め、有効な薬のない病気と闘う患者さんと支える方々へ福音となる核酸医薬品を届けることを目指す大阪大学発のバイオテックです。アンチセンスオリゴヌクレオチドを主開発品とし、複数の製薬会社との共同開発と自社創薬を積極的に推進しています。

ルクサナ XNAs 技術について：

大阪大学薬学研究科小比賀教授らの研究成果により生み出された、AmNA、scpBNA、GuNA等の人工修飾核酸群を総称して「ルクサナ XNAs 技術」と称します。RNA への強い結合力と高い肝毒性低減効果の特性を生かし、高活性と低毒性を両立したアンチセンスオリゴヌクレオチドを創製することができます。

【問い合わせ】

ルクサナバイオテック株式会社 管理部

E-mail: info@luxnabiotech.co.jp

HP: <https://luxnabiotech.co.jp/>